

長期健全財政を目指して  
慎重な財政運営を求む

えない。来年以上に再来年さらに税収減が予想される中、交流センターも新体育館も市の財政にはそんなゆとりがあるのか心配だ。(青柳)

**答** 市民の心配に対し、十分慎重な財政運営に努めてゆく。

◆長期財政は大丈夫か

**問** 21年度予算について歳入見込みが甘くないか。又財政調整基金を取り崩しているが基金残高はどのくらいが適正と考えているか。(中原巳)

**答** 21年度歳入予算のうち、個人市民税1.8%減、法人市民税14.6%減の大幅な減額を見込んでいる。補助事業活用など財源確保、経費削減などに努め財源不足する分に財政調整基金などの繰り入れで対応した。財政調整基金は、最低10億円は確保したい。

**問** 水道料、自動車税は納付できるが、軽自動車税はどうか、納付者の利便性を考慮すべきではないか。(山口)

**答** 初期費用や手数料が高価であるので慎重に検討を行う。

◆言葉のバリアフリーを

**問** 障害者の「害」の字は本来使われるべき「碍」とは意味が異なりマイナスのイメージがある。「障がい者」への表記変更の考えは。(山口)

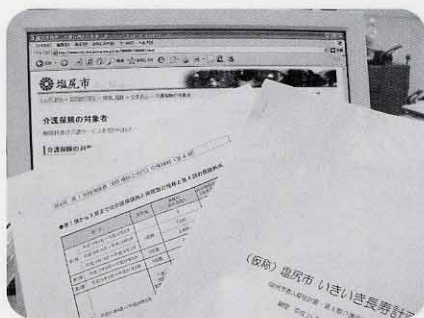
**問** 市民交流センター、デジタル防災無線導入などの状況下で新体育館建設は可能か。償還のピークはいつになるか。(中原巳)

**答** 新体育館建設費を含めた起債の年度別元利償還額は、平成26年度にピークとなり27年度以降穏やかに減少する。

◆コンビニ納税の実施を



コンビニエンスストアでも納付できる  
水道料の納付書



21年度から介護保険料が見直される

**答** かな表記を使用している自治体もあるが法律や例規は漢字表記である。自立しやすいつい社会をめざし研究していく。

◆低所得者への負担軽減は

**問** 介護保険料の見直し等について。(鈴木)

**答** 所得による区分を10に増やし、低所得者に配慮し、基金の繰り入れで、基準額引き上げ幅を抑えた。ケアマネ勉強会の回数を増やしていく。

◆介護従事者の待遇改善は

**問** 介護保険見直しにより、どの様に待遇改善は反映されるか。(中村)

**答** 事業者の評価により反映され、実績、介護福祉士・夜勤勤務者・看護師の配置基準などで評価される。

◆(仮称)ふれあいセンター  
広丘建設計画

◆ホームページの充実

**問** 観光や地域ブランドの市外への発信強化と電子申請の拡充を。(石井)

**答** 塩尻市観光協会のホームページ立ち上げに合わせ、各企業の協賛を得ながら別システムを立ち上げる計画である。

## ブランド構築と情報発信

**問** 平成23年に建設予定だが内容はどうか。(中村)

**答** 地域福祉の推進拠点としての整備をしたい。予定地にある認知症対応型施設は今後も必要である。地域住民の皆様のご意見をお聞きし、相対的に検討を進める。



(仮称)ふれあいセンター広丘  
建設予定地の旧桔梗荘跡